



注意欠如・多動症(ADHD)
自閉スペクトラム症(ASD)
学習障害(LD)など、

「がんばりすぎない」
「リラックス」
がキーワード!

保護者や教員などの周囲の大人が悩みがちなポイントや
安心できる環境づくりのヒントを、

Q&Aも織り交ぜながらわかりやすく解説!

がんばりすぎない!
発達障害の子ども支援



『がんばりすぎない! 発達障害の子ども支援』(加藤博之 著, 青弓社 ;1800円+税)

発達障害のネガティブな面ではなくいい面を見る習慣を身につけ、「ユーモア」と「ゆるさ」をもって子育てをしていくための知見を提供する、実践に役立つガイドブックです。

目次

- 第1章 子どもと関わる際に知っておきたいこと
- 第2章 子育てで大切なことをエピソードから学ぶ
- 第3章 子ども自身の悩みに答える
- 第4章 子どもを取り巻く環境について答える
- 第5章 いろいろな子どもから学ぶ——発達障害の事例

発達支援教室の代表として
発達障害の子どもに長年接
してきた著者の実体験から、
うまくいったケースやつまづ
いたケースを多数紹介!

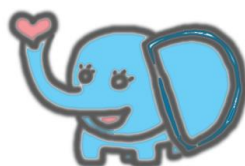
全国的に、インフルエンザが大流行しているようです。息子は就職後、毎年12月に一人で病院に行き、インフルエンザの予防接種をしています。さらに、会社へ申請して補助金をもらっています。本人は「それくらい、誰でもできること」と言いますが、誰でもできないことに……とは絶対に口にできません。息子は、注射は大丈夫なのですが、検査で鼻に棒を突っ込まれるのが死ぬほど嫌いです。そのため、高熱が出ても病院に行くのを断固拒否します。毎年、自ら進んで予防接種をするのは、検査を避けるためなのです。息子は已年の年男。今年もよろしくお願いします。(亜)

ダンボクラブでは、発達障がいについて広く理解していただくための啓発活動を行っています。ご賛同いただける方の温かいご支援を募集しています。ボランティア活動にご興味のある方、ご寄付いただけます方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ: damboclub@gmail.com

お振込口座: 伊予銀行 小栗支店 普通 1321818

ダンボクラブHP → <https://www.dunboclub.com/>



ダンボ通信

☆第184号☆
発行日: 2025年1月

****ダンボクラブについて****

発達障がいがどのようなものか知っていますか?
私たちは、そんな子どもたちを育てています。
この広報は、ダンボクラブがどんな活動をしているのか
知っていただくために作りました。



☆☆☆活動報告☆☆☆

★保護者会 12/21(土)★

座談会と役員会を実施しました。役員会では、来年度の保護者会の予定などについて確認しました。

★成人当事者会「ワンピース」12/15(日)★

今回は、座談会とお楽しみ会でした。

前半は自己紹介と近況報告を、後半はゲームを実施しました。

＜ゲームの内容＞

最初に4つのグループに分かれ、『あたまおしりゲーム』をしました。4問の出題に、みんな一生懸命頭をひねっていました。得点がトップのグループから、ワンピースで用意したプレゼントを選んでゲット! その後は、それぞれが持ち寄ったカードやボードゲームで盛り上がりしました。人生ゲーム・ババ抜き・UNOなどの定番ゲームや、『はあって言うゲーム』という最近流行っている(?)ゲームなど、それぞれのグループで大盛り上がりでした。名残惜しく片付けをしながら、「想像以上に楽しかった」と言い合い、1年の最後を笑顔で締めくくることができました。



『思ったことを何でも言ってしまう』

⇒発達障がい者の特性の一つですね。

例えば……



発達障がい者は社会に存在する「暗黙のルール」や「暗黙の了解」を自ら学び取るのが難しいという特性があります。

小学生ぐらいになると、相手のことを考えて、言っ
てはいけないことがわかり、言わないようになってきます。
しかし、発達障がい者は、その気遣いができません。

暗黙のルール

？



その対処法は？

過度な注意をしない

特性が影響しているという観点を考慮する。悪気がないにも関わらず、過度な注意を受けると本人は傷つき体験のみ残ってしまうことになります。



感情的にならずに伝える

「正しいことを言っ
て何が悪い」と思っ
ている相手に対し、強
い否定や訂正は逆効果。
感情的にならずに淡々
と伝えた方が、聞いて
くれることが多いです。

まず、共感

その後、自分の思いを伝える。



★正直者★

